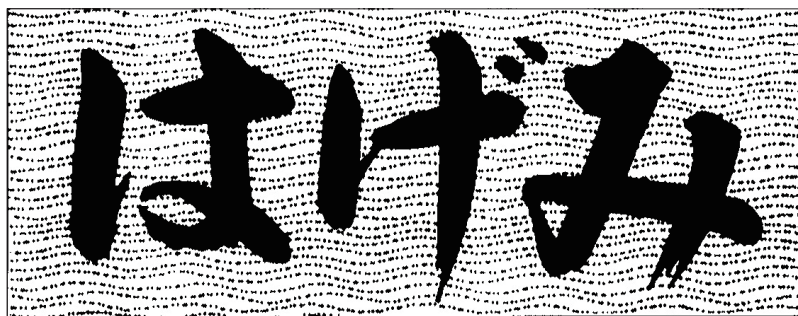



第94号 2026. 3. 25

 (公社)津法人会 青年部会
 津市広明町121番地 津税理士会館4階
 TEL(059)225-1302


(Instagram)



(ホームページ)

提 言

「続けるという責任」

「会社を続けることが一番難しい。」

起業した頃、先輩経営者から何度も聞いた言葉です。当時はどこか遠い話のように感じていましたが、十年余り経った今、その重みを実感しています。景気や物価の変動、人手不足、働き方の変化。企業を取り巻く環境は目まぐるしく変わり続けています。経営に携わる者も、企業で働く者も、その変化の只中で日々の仕事と向き合っているという点では同じなのかもしれません。

企業というものは、数字や設備だけで成り立つものではありません。そこには人がいて、取引先との信頼があり、地域とのつながりがあります。日々の仕事は目の前の業務に追われがちですが、その一つひとつの営みが地域の経済や暮らしを静かに支えているのだと考えると、企業活動の意味もまた少し違った景色を見せてくれるように感じます。

企業が社会と関わる形はさまざまです。仕事を通じて地域の役に立つこと、雇用を生み出すこと、そして社会の仕組みを支える一員として責任を果たしていくこと。普段は意識することの少ない部分かもしれませんが、企業や働く人の活動が積み重なることで社会は成り立っています。法人会の活動に触れる中で、そうした当たり前の営みの価値を、改めて考える機会をいただいているように

思います。

津法人会青年部会には、さまざまな業種、そしてさまざまな立場の方が集まっています。経営に携わる方もいれば、企業の現場で力を発揮されている方もいる。それぞれ歩んできた道は違いますが、同じ地域で働き、地域の未来に関わっているという点では皆同じです。忙しい日常の中でも顔を合わせ、言葉を交わす。決して大げさではない、こうしたつながりが、この会の価値を形づくっているのではないのでしょうか。

先の見通しが難しい時代と言われます。しかし、地域で働く人がいて、企業の営みが続く限り、まちは確実に前へ進みます。一つひとつの仕事は小さく見えても、その積み重ねが地域を支え、社会を形づくっていく。特別なことを成し遂げるよりも、それぞれが自分の仕事を誠実に続けていくこと。その当たり前の積み重ねこそが、結果として地域の未来をつくっていくのだと思います。

津法人会青年部会もまた、そうした人と人をつなぐ場であり続けてほしいと感じています。立場の違いを越えて同じ地域で働く者同士が集い、語り合い、励まし合う。その静かなつながりが、やがて地域の力となり、このまちの未来を支えていくのではないのでしょうか。

親睦ボウリング大会

日時：令和7年8月1日(金) 18:00~20:15

場所：津グランドボウル



令和7年8月1日、津グランドボウルにて親睦ボウリング大会が開催されました。暑さで外での運動が制限される中、屋内で体を動かす機会ということもあり、大人も子供も楽しんでいただきました。参加者は大人50名・子供18名でした。

プレー終了後は東洋軒さんのお料理をいただきながら、懇親会と表彰式が行われました。



研修例会

『MieMuを家族で楽しもう』

日時：令和7年8月5日(火) 15:00~17:00

場所：三重県総合博物館

講師 三重県総合博物館 学芸員 太田 光俊 氏



8月5日(火) 三重県総合博物館にて研修例会「MieMuを家族で楽しもう」と題して、夏休み中、親子でも参加可能な例会として開催されました。当日は親子連れ含む会員17名が参加しました。

三重県総合博物館学芸員である太田光俊氏を講師として、津のまちの歴史についてご講話いただき、常設の基本展示及び、第40回の企画展として開催中の「地獄へようこそ 鬼と亡者と閻魔の世界」について解説をいただきながら見学をしました。

地獄は仏教の考え方が色濃く反映されています。入り口から閻魔大王のパネルがお出迎えするなど子どもも楽しめる設えとなっており、仏教の六道と言われる世界観を表現した掛け軸などを通じて、古くから人々の心や生活に根付いてきた地獄の概念について学ぶことができました。

例会終了後は丸五水産ピアガーデンにて懇親会を開催し、夏の夜風に吹かれながら海の幸を味わい、会員相互の交流を深めました。

9月例会

『税の経験～一罰百戒～』

日 時：令和7年9月24日(水) 18:30～20:30

場 所：東洋軒

講 師 津税務署 署長 石丸 真吾 様



9月24日、青年部会の9月例会・税務研修会が、津市の東洋軒にて開催されました。講師には津税務署署長 石丸真吾様をお迎えし、「税の経験～一罰百戒～」をテーマにご講演いただきました。石丸署長は税務職34年目、法人課税部門を中心に多彩な経験を重ねられており、法人会との交流にも理解の深い方です。

講演ではまず、国税庁・国税局・税務署の役割と組織について分かりやすい解説がありました。特に「適正・公平な課税を守る仕組み」として査察制度が紹介され、申告納税制度を支える最後の砦としての意義が強調されました。また、脱税は「正しく納税する人々を不利にする行為」であることに触れ、公平性を守るための厳正な対応の重要性が語られました。



さらに、法令違反に伴う罰則や社会的信用の失墜など、違反によって生じる不利益にも言及があり、「正直者が馬鹿を見ない社会」を実現するため、正しい納税がいかに重要かを呼びかけられました。

参加者にとっては、税務行政の意義を改めて学ぶ貴重な機会となり、事業活動や地域社会の健全な発展について考えるきっかけともなりました。講演後には質疑応答が行われ、さらに同会場で懇親会も開かれ、和やかな雰囲気の中で理解と交流が一層深まりました。

県連・青年部会連絡協議会 情報交換会

日時：令和7年10月24日(金) 15:00～19:10

場所：ザ・オランジェガーデン 五十鈴川

令和7年10月24日(金)、伊勢市の「ザ・オランジェガーデン 五十鈴川」にて、青年部会連絡協議会 第32回情報交換会が開催されました。

当日は伊勢法人会青年部会からの報告の後、全員参加の「税金クイズ」が行われました。意外にも、専門知識のあるはずの方々も悩みながら回答しており、会場は大いに盛り上がりました。税の知識は“知っているつもり”になりがちですが、楽しみながら学べる工夫が、租税教育活動にも通じるヒントだと感じました。

続いての記念講演では、株式会社クロフネファーム代表取締役 案浦 豊土氏より、「発達個性を活かした健康なチーム作り」と題してご講演いただきました。障害ではなく個性と捉えることで、生き生きと働くことができる人材を育てているお話は、学びの多い内容でした。自社の経営でも、欠点を探すのではなく得意分野を活かした働き方を整えることが、双方にとってのウィンウィンにつながると気づかされました。

今回の情報交換会で得た気づきを、今後の青年部会活動はもちろん、日々の職場づくりにも活かしていきたいと思えます。



全国青年の集い

山梨大会に参加して



11月20日（木）～21日（金）に開催された「第39回 法人会全国青年の集い 山梨大会」に参加しました。

大会では、青年部会の柱である租税教育活動に関するプレゼンテーションが実施され、子どもたちに「税の役割」や「社会のしくみ」をどう伝えるか、地域の実情に合わせた工夫や発信の仕方など、多様な事例に触れることがで

きました。あわせて、部会員規模が近い部会長同士がテーブルごとに分かれて交流する「部会長ウェルカムパーティー」や「部会長サミット」での意見交換もあり、課題や工夫を率直に共有できたことも大きな学びとなりました。津法人会青年部会の取り組みを見直すヒントも多く、今後の活動の質を高めるうえで大いに参考になりました。

また、近年ますます重要性が高まる健康経営についても、「健康経営大賞」として、各地の青年部会（単位会）および会員企業の取り組みが紹介され、健康づくりを“経営”として捉え、成果につなげていく視点や仕組みづくりを学ぶことができました。

大懇親会では山梨の食やワインを味わいながら全国の仲間と親睦を深め、さらにレミオロメン藤巻亮太さんの生歌を拝聴でき、会場が一体となる印象的なひとときとなりました。その後は津のメンバーだけで懇親会。山梨の夜を“まだ満喫したい”という声もあり、気づけば一部のメンバーは深夜まで…という、津らしい良い夜になりました。

大会後の土曜日は棚橋副委員長が組んでくれたプランで山梨を満喫しました。シャトー酒折ワイナリーでは、ワインができるまでの工程を実際に見学し、ぶどう栽培から醸造・熟成へとつながる流れを学びながら、山梨の“ものづくり”の奥深さを体感できました。さらに河口湖を高速ボートで遊覧し、忍野八海にも足を運び、自然と文化の両面から山梨の魅力を堪能することができました。学びの場の延長として、地域の良さを肌で感じられたことも大きな収穫でした。

全国青年の集いは、学ぶものが多いことはもちろん、会員同士の懇親を深め、全国の良いところを体験できる絶好の機会でもあります。次回は島根大会です。ぜひ次回はより多くの会員の皆さまと一緒に参加し、学びと交流の輪をさらに広げていきましょう。



12月例会 忘年会

日時：令和7年12月10日(水) 18:30~20:00

場所：高田会館

毎年恒例の忘年会が高田会館にて開催されました。当日の参加者は31名で、そのうち8名が新入会員の方ということもあり、新しい仲間と情報交換や懇親を深めることができ、有意義な時間となりました。また、途中で行われたルーレット抽選会では、会員企業の商品にウォーキングキャンペーンでの景品も加わり、大いに盛り上がりました。懇親会などは情報交換の場として有効なことは勿論ですが、様々な業種、立場の方と親睦を深めることで、今後の企業経営の問題解決につながるかもしれません。会員の皆様にはぜひ積極的にご参加いただきたいと思います。



2月例会 『健康経営のためのストレッチ』

日時：令和8年2月27日(金) 19:00~20:30

場所：アストプラザ4F 会議室1

講師 理学療法士 東出 真奈未 氏



2月27日(金)アストプラザにて2月例会「健康経営のためのストレッチ」と題し、理学療法士であり、上浜町にてリラクゼーションサロンKutakutaを経営されている東出 真奈未氏を講師にお招きし、仕事でや家庭で気軽にできるストレッチについて、参加者全員で実際に体を動かしながら学びました。

東出氏は、整形外科でリハビリテーションの指導を行ってきた経験をもとにタイ式のマッサージを取り入れたストレッチを行っています。ストレッチは最もコストパフォーマンスの良い健康投資であり、可動域の低下が老化の始まりとなることから可動域のチェックを行いました。痛みを作らない身体づくりを今回の講話のテーマとして、肩の可動域を広げる、内ももを伸ばすなどのストレッチをご指導いただきました。特に肩甲骨は17の筋肉が繋がっており、動かし伸ばすことで非常に高い効果が期待できるなど、日々の仕事のパフォーマンスを高めるために身体を整えることへの理解を深める例会となりました。



租税教育活動報告

ジュニアエコノミーカレッジ in 津

日時：令和7年8月23日(土) 14:00~14:50 場所：津商工会館5階会議室

2025年8月23日(土) 14:00~14:50、津商工会館5階会議室にて、津商工会議所青年部主催の「ジュニアエコノミーカレッジ」事業の一環として、租税教室を実施いたしました。

ジュニアエコノミーカレッジは、小学生が実際に会社を立ち上げ、自分たちで商品を企画・販売するという体験型の学習プログラムです。

その中で、売上に応じて「税金を納める」という要素も組み込まれており、子どもたちにとって税金が自分のこととして感じられる貴重な機会となっています。

このような背景を踏まえ、租税教室では「税金とは何か」「税金がどのように使われているのか」「なぜ税金を納める必要があるのか」などについて、イラストや身近な例を交えて分かりやすく説明しました。

当日は、児童たちはすでに他の多くの講義を受けた後にもかかわらず、租税教室にも非常に熱心に参加してくれました。

真剣な眼差しで話を聞き、活発に質問する様子がとても印象的で、将来の社会を担う子どもたちの高い関心と理解力に感心させられました。

今後も、次世代の納税者である子どもたちに向けた租税教育の重要性を再認識し、地域と連携しながら継続して取り組んでまいります。

ジュニアエコノミーカレッジとは、津市内小学5・6年生を対象とし、模擬株式会社を設立し、ドリームプラン（事業計画書）を作成したうえで出資金を集め、チームで商品の開発・製作・仕入をします。

帳簿のつけ方やビジネスマナーを学び、その後販売の実践・決算報告・税金の納付（津市に寄付）をして、商売の仕組みを学び起業体験プログラムです。



令和7年度 新人会員 【4月～3月】 (順不同・敬称略)

1 (株)ピース	駒田 拓也
2 (株)Wellness Time	上地 伸哉
3 (株)ライフ・サポート	川原田 英夫
4 (株)ZTV	野口 陽平
5 (株)OMIYA	尾宮 涼
6 (有)辻本組	西澤 圭
7 (株)三重ふるさと新聞	麻生 純矢
8 (株)FAMIE	若林 祐基
9 (株)大弘通信システム	松吉 謙祐
10 西口金物(株)	西口 豪
11 亀井機工(株)	堀井 健
12 (株)杉新衣裳店	杉田 勇仁
13 イセツト(株)	伊藤 拓真
14 ミフジ(株)	三藤 友喜
15 (有)折笠園芸	池上 誉範

租税教育活動報告

9月には藤水小学校にて38名、1月には敬和小学校にて50名の児童を対象に租税教室を実施しました。また、今年度は年間を通じて11校の小学校で租税教室を開催し、合計534名の小学6年生に税金の大切さや社会における税の役割についてお伝えすることができました。

これもひとえに、日頃よりご協力いただいております会員の皆様のお力添えによるものであり、心より御礼申し上げます。特に今年度は、新たに租税教室にご参加いただいたメンバーの皆様にもご協力いただき、活動の広がりを感じる一年となりました。ご多忙の中ご協力いただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。

また、「津うのまち税金マップ」を使用した租税教室も長く実施してきましたが、近年は小学校を取り巻く教育環境も変化しており、子どもたち自身が考え、主体的に学ぶことを重視した授業が求められるようになってきています。こうした変化も踏まえながら、今後の租税教室の内容や教材のあり方についても、必要に応じて見直しや工夫を検討していくことが大切ではないかと感じております。

つきましては、皆様からのご意見やご提案などがございましたら、ぜひお聞かせいただければ幸いです。来年度の租税教室の活動に向けて、引き続き皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



いまいきはげみ!

第42回

「控えめだけど、すごいまち」 ——津市のほんとうの魅力

「津って、何があるの?」と聞かれると、ちょっと返事に困ってしまう。

そんな控えめな津市民の気質、実はこのまちの魅力そのものかもしれません。

目立たないようでいて、よく見れば驚くほど深い。そんな津市の“すごいところ”を、わたし、津市観光協会として今日は少しだけご紹介します。

まず訪れてほしいのが、国宝・高田本山専修寺。

日本で五番目に大きな木造建築と言われる御影堂と如来堂は、まさに圧巻。荘厳でありながらどこか温かく、長い時を経ても変わらぬ信仰の心を静かに伝えています。国宝と聞くと身構えてしまいそうですが、地元の人にとっては「ほんざんさん」と呼ばれる親しみの存在。そんな距離の近さが、このまちの空気をやさしく包んでいます。

そして、津城。

築城の名手・藤堂高虎が大改修した名城として知られ、「続日本100名城」にも選ばれています。現在は本丸跡に石垣やお堀が残り、春には桜が咲き誇る市民の憩いの場。戦国の風を感じながらも、穏やかな日常が重なり合う場所です。歴史の重みを誇示しない、そんな静かな誇りが津らしさ。

津観音は、日本三観音のひとつ。

奈良時代にまでさかのぼる古刹で、門前町の人情味ある通りを歩けば、どこか懐かしい日本の風景に出会えます。観音さまのやさしさは、津の人のあたたかさそのもの。節分や七夕などの行事のときには、ふだん控えめな津市民もどこか誇らしげに微笑み、大いに賑わいます。

少し足をのばせば、榊原温泉。

清少納言が「湯は七栗の湯」と称えた、日本三大美肌の湯のひとつです。湯上がりの肌はしっとりすべすべ。華やかな温泉街ではありませんが、心までほぐしてくれる静けさがあります。伊勢神宮の参拝の「湯ごり」として、古くから親しまれており、「心を整える湯」と呼びたくなるほど。

そして、美杉エリア。

星降るような夜空を堪能できる「星空浴ツアー」は、まさに津の隠れた宝。山々に囲まれ、灯りの

少ない美杉では、天の川がまるで手の届くところにあります。派手な観光地ではないけれど、心が静かに満たされていく——そんな体験が待っています。

津市は、決して“自分から前に出る”タイプのまちではありません。

でも、ひとつひとつをじっくり味わうと、どこまでも深く、あたたかい。

歴史があり、自然があり、人のぬくもりがある。

そんな「控えめだけど、すごいまち」。

それが、わたしたちの津市です。

どうぞ、あなたのペースで、このまちの“静かなすごさ”を見つけに来てください。

さらに、家族連れでも楽しめる場所がたくさん。

実は津市、子育て世代にもとってもやさしいまちなんです。

まずご紹介したいのが、全国でここだけ!のテーマパーク、「おやつタウン」。

あのベビースターラーメンの工場を見学したり、自分だけのオリジナルベビースターを作ったり。巨大アスレチック「ホシオくんドデカイスライダー」では子どもたちが元気いっぱいに走り回ります。屋内施設も多いので、雨の日でも安心。おやつ好きの大人も思わず笑顔になる、“おいしい遊び場”です。

さらに注目は、「げいのうわんぱーく」。

全天候型の大型遊具施設で、利用料はなんと無料。土日も開放しており、親子連れでいつもにぎわっています。広々とした芝生、木の温もりを感じる遊具、そして安全設計。子どもが夢中で遊ぶ姿を、保護者がゆったり見守れる環境が整っています。津市の“子育てしやすさ”を象徴する場所のひとつです。

そして、もうひとつ忘れてはいけないのが、「ポートレース津」。

全国でも数少ない海沿いのレース場で、週末には家族向けイベントが多数開催されています。キャラクターショーやキッチンカー、地元グルメの出店など、「レース場」のイメージをくつがえすファミリースポット。保護者はレースを楽しみ、子どもは屋外イベントに夢中。まさに“大人も子どもも楽しめる”津ならではの休日です。

自然も、文化も、遊びも、食も、ぜんぶがちょうどいい距離にあるまち——それが津市。

派手ではないけれど、暮らす人にも、訪れる人にも、やさしく寄り添う場所です。

控えめだけれど、じわじわと心に残る。

そんな“津らしさ”を、ぜひご家族みんなで体感してみてください。